

「田辺市の環境」刊行にあたって

田辺市は、世界遺産「熊野古道」や「熊野本宮大社」「鬮雞神社」に代表される古い歴史や文化、天神崎をはじめとする豊かな自然環境に恵まれ、多くの恩恵を受けて暮らしています。もちろん私たちだけではなく地球の全ての生物は様々な影響を相互に受けながらこの恩恵の中で生きています。

しかし、私たちが便利で快適な生活を求め続けた結果、資源やエネルギーの大量消費が続き、自然環境の破壊による生物多様性の損失や地球温暖化の進行など、日頃の生活環境に係ることから地球規模に至るものまで、様々な問題が提起されています。

本市では、2017年（平成29年）7月に、新たな10年間のまちづくりの指針となる「第2次田辺市総合計画」を策定し、まちづくりの理念に掲げる「一人ひとりが大切にされ、幸せを実感できるまちづくり」

に基づき、まちの将来像「人と地域が輝き、未来へつながるまち田辺」の実現に向けたまちづくりの基本方向である「人」「活力」「安全」「希望」「安心」

「快適」の6つの政策のうち、環境政策の方針を「安心」「快適」として定め、生活排水処理による水質浄化や温室効果ガス排出抑制に関する取組、環境保全活動や美化活動、ごみ減量とリサイクルによる循環型社会づくりに係る取組等の諸施策を展開しております。2022年（令和4年）3月には、「第2次田辺市総合計画後期基本計画」を策定し、令和4年度から令和8年度までの5年間における具体的な施策の方針や展開を示しており、引き続き、市民の皆様とともに、「人と地域が輝き、未来へつながるまち田辺」の実現に向け、取り組んでおります。

また、本市は、2022年（令和4年）、SDGsの達成に向けて優れた取り組みを提案する都市として、内閣府から「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定されました。これを受けて、同年10月には「田辺市SDGs未来都市計画」を策定し、持続可能な開発に向けて、経済・社会・環境の三側面の統合的な取組を進めているところであります。

環境問題は決して私たちと無関係のものではなく、魅力ある自然豊かな田辺市を後世に継承していくためには、市民一人ひとりが環境問題全体について考え、住民と行政が協働して取組を進めることが必要不可欠であります。

本冊子は、令和元年度から令和4年度における本市の環境の現状等について取りまとめたものであり、皆様にご報告申し上げますとともに、これにより、本市の環境問題について、一層のご理解を深めていただくことで皆様の環境保全に対する理解と行動の一助となれば幸いです。



令和6年3月

田辺市長 真砂 充敏